

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・例年8月はそれほど売れる月ではないが、今月は電話問い合わせも多く、販売量、来客数の動きともに好調である。
		観光型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・愛知万博特需に支えられ、特に東京、大阪などからの遠来客が多く好調である。宿泊は連日満室である。
		都市型ホテル （支配人）	来客数の動き	・愛知万博で個人客の動きが活発になっている。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	単価の動き	・来客数、客単価、売上とも好調である。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・これまでは、購入を迷った時は買わないという客が多かったが、最近では買う方に動く客が少数ながらもいる。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	お客様の様子	・観光客の入出は前年比プラスとなり、土産物も購入量、単価とも増加、上昇傾向にある。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・お盆用の寿司や果物の盛り合わせは、昨年より高単価の商品の売行きが良くなっている。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・天候にも恵まれており、米飯や調理めん類を中心に売上は好調である。前年の売上も上回っている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・今月は天気の良い日が多く、特に週末やお盆の来客数は昨年に近く好調である。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・愛知万博特需が続いており、特に飲料の動きが良い。
		コンビニ（売場担当）	来客数の動き	・愛知万博の影響で来客数、売上とも好調である。
		衣料品専門店（企画担当）	販売量の動き	・天候要因もあるが、季節商品の動きが良く、秋物の新規商品の感触も良い。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・例年お盆を挟むこの時期は低調であるが、今年は購入検討の客が増えている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・先月に引き続き、ランチタイムの客の入りが良い。低価格の日替わりランチが好評で、リピーターが多い。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	単価の動き	・販売数量はあまり変わらない。しかし傾向としては、安くてそれなりに良い商品から、高くても本当に良い商品へと少しずつ動き始めている。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・一時的かもしれないが、愛知万博や中部国際空港の影響で、来客数の動きが良い。
		タクシー運転手	お客様の様子	・お盆明けは夏休みの人が多いせいか、夜の繁華街の人出はやや少ないが、お盆前は好調であった。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・キャンペーンの影響もあるが、新規契約数は今期が最高となっている。
通信会社（開発担当）	販売量の動き	・インターネットの高速通信サービスの申込件数が順調に伸びている。		
美容室（経営者）	お客様の様子	・関連商品を買う客が増加している。		
変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・例年夏休みになると売上は増加するが、今年は愛知万博関連商品は売れても一般商品があまり伸びない。	
	商店街（代表者）	販売量の動き	・相変わらず必要以外のものは買ってもらえない状態が続いている。客単価、販売量、売上とも伸び悩んでいる。	
	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きなどに大きな変化はない。	
	一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・来客数はここ数か月横ばいで、必要なものだけを購入する態度も定着しつつある。	
	一般小売店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・天気の良い暑い夏が続いており、冷たい飲料がよく売れている。外国人グループの客が来店し、低価格品だが何かが買っていくのも特徴である。ただ例年に比べて、愛知万博やイベント会場に人が分散し人出が少ないため、全体の売上は昨年と変わらない。	
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・バーゲン服なども目的買いが多く、まとめ買いの客は少ない。客の表情から、商品をどうしても欲しいというわけではない様子がうかがえる。	

百貨店（企画担当）	販売量の動き	・来客数、購買客数が前年を上回り、引き続き愛知万博の効果がみられる。
百貨店（企画担当）	販売量の動き	・引き続き愛知万博関連のお土産の需要が好調であることに加え、婦人服、紳士服の秋物の立ち上がりも順調である。昨年はアテネオリンピックで売上が落ちた反動もあり、売上は前年を大きく上回っている。
百貨店（経理担当）	販売量の動き	・外商売上は順調に推移している。しかし10代、20代向け婦人服を除き店頭売上は不調である。
百貨店（外商担当）	お客様の様子	・外商客を訪問すると以前より話を聞いてもらえ、買ってもらえる。ただし、店まで足を運んでもらえるほどには購買意欲は高まっていない。
スーパー（経営者）	単価の動き	・来客数は多少増加しているが、買上単価が低く売上は伸びていない。
スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は依然96%前後の推移をしており、回復の兆しはみられない。盆商戦も盛り上がり欠け、旧来のような高単価商品を買う行動はみられない。
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は横ばいであり、客単価も大きな変化はみられない。
スーパー（店員）	販売量の動き	・来客数も販売量も変化していない。
スーパー（店員）	販売量の動き	・今月末から季節物のサンマが安値で入り動きが非常に良いが、他の商品も合わせ店全体でみるとあまり変わらない。サンマの上乗せが見込めないうちは、景気が良くなっているとは言いがたい。
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・昨年に比べ天候に恵まれた分、来客数、売上ともに前年をクリアしているが、客単価の低下は変わっていない。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・昨年の8月は7月の好調から一転し10%ほど落ち込んだため、今年の8月は前年比の上乗せを期待していたが、お盆期間中や以降の販売が低迷しており、前年比95%となっている。9月に販売終了するハイウェイカードの特需もまだみられない。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数が減少している分、販売量も減少している。
衣料品専門店（販売企画担当）	お客様の様子	・客からの注文数量は非常に少なく、最小ロットにも満たない。ほとんどがバラの取り寄せという状態が続いている。
家電量販店（経営者）	お客様の様子	・中小企業は依然として厳しく、客の様子をみても単価の安い商品ばかりが売れている。売上は前年比で微減である。
家電量販店（店員）	来客数の動き	・来客数も単価も変わらない。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・相変わらずファミリー層の動きが鈍く、販売の絶対量が増えてこない。また価格も、今年前半までのような二極化というわけでもなく、比較的穏やかな価格帯に集中している。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・8月の車両販売数は前年を大幅に下回る実績である。今年は年初から新型車の投入がなく、法規制対応の改良や小幅な変更がなされた程度であり、販売不振の主因は商品力の低下によるものと思われるが、店頭でもあまり活気がみられない。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・例年8月は来客数、販売量とも減少するが、今月はお盆前でも新車を見に来る客が多く、成約率も昨年比で100%をクリアしている。ただし、現金一括購入の客も多く、予算内に合わせようと値引き要求やオプション品のカットが多いため、利益面では厳しい状況にある。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・例年ならお盆明けは良い話が出てくる時期であるが、今月はあまり良い状態ではない。
自動車備品販売店（経営者）	単価の動き	・今月もやはり、カー用品販売店にとって厳しい月である。来客数が伸びても客単価が低下し、売上への貢献はみられない。客は必要最小限のものに絞って購入しているため、単価が伸びてこない。
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・ここ数か月は来客数が回復する動きがあったが、ここへきて止まっている。愛知万博の影響により、都心店舗の一部に来客数増加の動きがあるが、全体でみると逆に客を奪われているところもある。

	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・来客数は増えているが、客単価の変動がない。
	一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・お盆期間中は人の動きがあったが、盆が終わった後は厳しい状況である。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・例年8月は暇であるが、今年はスタッフが変わったりイベントを実施したこともあり、それなりに来客がある。売上は昨年より多少増加し、7月と変わらないくらいである。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊は高稼働であるが、レストランや宴会の来客数は減少している。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・天気にも恵まれ来客数は多いが、売上にはつなげていない。
	旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・静岡県東部のホテルでは、愛知万博に客を取られてずっと苦戦している。愛知万博によるマイナス効果を受けている。
	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・愛知万博が地元で開かれているため、1泊旅行の客が増えず、現状維持が続いている。
	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・秋の旅行シーズンを迎えているが、団体旅行の受注状況は例年並みに動いている。しかし一方で、地震、台風などの自然災害に伴うキャンセルも発生しており、上昇気流に乗るまでには至っていない。
	通信会社（営業担当）	競争相手の様子	・シェアは伸びているが、利益は減少している。
	テーマパーク（総務担当）	来客数の動き	・今月はイベントを開催しても来客数は伸びていない。今年度に入ってずっと、来客数は前年同月を下回っている。
	観光名所（案内係）	お客様の様子	・富士山登山客の様子を見ていると、例年と比べてもお金の使い方が渋い。登山客数も減少している。
	パチンコ店（店長）	来客数の動き	・客の動き、客単価とも特に目立った変化はない。
	その他サービス [パチンコ機器 製造販売]（エリア担当）	単価の動き	・来客数は減少しているが、客単価で補っており、売上は横ばいである。
	設計事務所（営業担当）	競争相手の様子	・相変わらず受注環境は非常に厳しい。
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・愛知万博と関連する動きがあり、会場に近接する地域の販売店では来客数、売上とも伸びている。しかし、その他の地域では変わらない。
やや悪くなっている	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・例年8月は百貨店は暇であるが、愛知万博の影響からか、今年は特にお盆期間中の家族連れ客が少ない。
	スーパー（経営者）	販売量の動き	・来客数はあまり変化していないが、売上は減少している。
	スーパー（経営者）	来客数の動き	・愛知万博会場付近に店があるので、万博に客を取られ来客数が少ない。
	スーパー（仕入担当）	競争相手の様子	・愛知万博関連商品の売上、来客数の増加により前年を大きく上回る店もあるが、逆に愛知万博関連商品以外の売上が前年を大きく割り込み苦戦している店もある。競合店の競争も相変わらず激しく、新店改装やチラシ売りなどで競争はより激化している。
	コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・酒類免許の規制緩和により、大手スーパー、ディスカウント店、ドラッグストア、コンビニなどに免許が交付されたため、酒屋は10年前の半分程度に減少している。アルコールの販売数量は10年前は酒類小売業者で90%以上を占めていたのに対し、現在は30%未満である。この影響を受けて、当店でも苦戦が続いている。
	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・単価の低下を含め、色々な面で悪化している。
	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・社会状況がまだまだ不安定なので、消費者の財布のひもは非常に堅くなっている。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・当テーマパークへの入園者数は、愛知万博への来場者数の増加と反比例して減少している。
	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・来場者数は4月以降増加していたが、8月になって減少に転じている。

		ゴルフ場（営業担当）	単価の動き	・愛知万博効果で、初めての人や外国人などの客が増え、来客数は前年を上回っている。しかし客単価は前年を下回っている。	
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客と話していても相変わらず景気の良い話はなく、回転も悪い。	
		理美容室（経営者）	来客数の動き	・今月はお盆時期で忙しいはずであるが、来店してくれない。	
		設計事務所（職員）	お客様の様子	・改築などで材料を選ぶときの客の様子をみていると、価格は高いが本当に質が良いものではなく、なるべく安く質感が良く見えるものを選ぶ傾向がある。	
		住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・競争相手も含め、同業者では売買契約の件数が減っている。地域的にみると、良いところと悪いところの差がかなり出ている。	
		住宅販売会社（企画担当）	単価の動き	・原油価格の高騰により仕入部品の価格が上昇している。	
	悪くなっている		商店街（代表者）	販売量の動き	・売上は右肩下がりが続いており、手の打ちようがない。
			コンビニ（店長）	販売量の動き	・コンビニの新規オープンが相次ぎ、競合店が増えている。弁当、飲料やたばこなどの売上が減少している。
			ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・入場者数、売上とも、前年比、予算比で100%を大きく下回っている。ここ数か月はそこそこの数字を上げていたのに、ここにきて悪化に転じている。
			美容室（経営者）	それ以外	・常連客が高齢化する一方で、新規客が増えていない。また、暑さで客足が鈍っており、厳しい状況である。
企業動向関連	良くなっている	行政書士	受注量や販売量の動き	・顧客企業の様子をみると、出荷量が増加しているようである。	
	やや良くなっている	化学工業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・受注、販売量とも好調である。	
		鉄鋼業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・国内需要はまだ停滞気味で、建設、建機の受注量は低水準で推移しているが、商品の販売単価は再度上昇に転じている。	
		金融業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・住宅ローンの契約が好調で、それに伴い火災保険契約も堅調に伸びている。	
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・大変な繁忙状態が続いており、新しい仕事もどんどん入ってくる。企業の設備投資意欲は非常に高く、ライバル社も同様な繁忙状態が続いている。		
変わらない		印刷業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量とも前期に比べて減速している。また、受注しても販売価格が引き下げられるため、売上も前期を割っている。	
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・出荷量の動きは良いが、原料価格の高騰に価格転嫁が追いつかない。	
		窯業・土石製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・受注量は堅調に推移している。	
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・相変わらず原油価格の高騰に伴う燃料費の高騰と、電力料金の引下げ攻勢、原材料の高止まりなどが続き、受注量、採算の両面において強い向かい風が吹いている。	
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内向け販売には大きな変化はないが、米国向けが増加傾向で、前年並みにまで回復している。	
		建設業（経営者）	取引先の様子	・自動車製造業関連の施設の設備投資が増えている。	
		金融業（従業員）	取引先の様子	・取引先の話では、通常の半期決算月よりは若干状況が良いという内容が多い。	
		経営コンサルタント	取引先の様子	・土地の値下がり傾向はまだ続いているが、安い物件を中心に徐々に買い手がつく状況にはある。	
		公認会計士	それ以外	・自動車関連以外では業況は良くない。また原料コスト高によるコスト上昇が深刻である。	
	やや悪くなっている		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量ともやや減少し、その結果生産量も同様の動きをみせている。
		一般機械器具製造業（販売担当）	受注量や販売量の動き	・米国市場では大型プロジェクトが中止されたり延期されたりしており、自動車メーカーの設備投資意欲が衰えている。	
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・例年8月はお盆前にかかなりの荷物が動きお盆明けは低調になるが、今年はお盆前もお盆明けも低調である。	

		輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・トラックへの積み込み台数や荷物の動きに大きな変化はないが、燃料の軽油価格が毎月2～4円も上昇しているため、車両収支はどんどん悪化している。
		広告代理店（経理担当者）	受注価格や販売価格の動き	・仕入価格は上昇気味であるが、販売価格に転化できず、利益は減少傾向である。
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・今年は長期の夏休みをとる顧客企業が多いため、今月は広告を自粛したようなかたちになり、その分少し悪い。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	取引先の様子	・システム運用保守費用について、値上げ交渉が本格化している。
	悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上は3か月前の85.6%、経常利益は88.1%と、減収減益である。
		金属製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・販売単価が低下する一方で、原材料価格は高止まりの状況が続いており、従来と比較して芳しくない状態が続いている。
雇用関連	良くなっている	民間職業紹介機関（経営者）	求職者数の動き	・求人数、求職者数とも前年を上回る推移であり、求職者のうち転職できた人数は30%近くも伸びている。
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・自動車関連企業を中心としたオーダーが依然として活発で、前年を10%以上上回っている。需要に応じた人材の確保が難しくなっている。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣社員の募集と併せて、正社員募集件数も増えている。
		求人情報誌製作会社（編集長）	求人数の動き	・新卒採用ニーズ、中途社員採用ニーズともに堅調で、前年より良い状態である。アルバイト、パートニーズに関して、愛知万博などを含めまだまだニーズがある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・パート求人は減少しているが、一般求人は増加している。
		職業安定所（管理部門担当）	求人数の動き	・生産工程、労務関係、専門技術職などが求人職種全体の50%強を占めている。自動車、金属工作機械製造を中心に引き続き好調である。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・転職希望者の登録が以前より少なくなってきた。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・静岡県内では大手から中堅まで採用活動は活発である。その一方で、人材派遣企業では人の集まりが極端に悪くなっている。 ・来年4月入社の新卒採用で、採用枠を増やしたにもかかわらず、予定採用数を確保できていない企業があり、引き続き新卒採用を続けている。さらに即戦力として中途採用を増やす傾向にある。
		職業安定所（所長）	求職者数の動き	・最近になって職業紹介件数に対する就職件数の割合が低下している。各企業とも人手不足感は依然として続いているが、採用条件を一段と厳しくしている。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・パートなどの非正規雇用に就職件数が増加しているが、収入の安定につながらず、雇用状況は依然として厳しい。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率は上昇しているが、新規求人数は前年同月比で連続して大きく減少している。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・求人数は横ばいの状況である。
	やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・一般企業の求人は前年を下回っている。また、ミスマッチなどによる慢性的な人材不足のため、広告出稿しても反響が少なく、人材確保につながっていない。
悪くなっている	-	-	-	